

『都市域の地下温暖化と地中熱エネルギー』研究報告会（ご案内）

主 催 住友財団 環境研究助成 「アジアの都市における
地下温暖化に関する比較研究」共同研究グループ
後 援 公益社団法人 地盤工学会関西支部
公益社団法人 日本地下水学会
大阪府，大阪市
地下水地盤環境に関する研究協議会
NPO 法人地中熱利用促進協会
総合地球環境学研究所

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は学術研究に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、標記研究報告会を別紙開催趣旨のもと、7 団体からの後援をいただいで開催いたします。関係各位お誘いあわせのうえ、是非ご参加くださいますようご案内申し上げます。

敬具

記

日 時 平成 24 年 11 月 15 日(木) 13:30～17:50
会 場 建設交流館 702 号室（大阪市西区立売堀 2-1-2 地下鉄・本町駅 22 番 23 番出口より徒歩約 5 分）
参加費 無料
定 員 120 名（先着順）
テキスト レジューメ(ppt ｼｰﾄ) A4 判 30 ページ程度

プログラム

13:30～13:40	開会挨拶，趣旨説明	研究代表者	谷口真人
13:40～14:10	報告 1「大阪平野における地下温暖化の実態」 (株)地域地盤環境研究所 事業推進室 次長	有本弘孝	
14:10～14:40	報告 2「大阪平野における地下温暖化の解析」 岡山理科大学 教授	北岡豪一	
14:40～15:10	報告 3「地下温暖化研究の経緯，地下温暖化の要因と負荷」 総合地球環境学研究所 教授	谷口真人	
15:10～15:30	休憩		
15:30～16:00	講演 1「地下温暖化による地下環境への影響」 埼玉大学大学院 教授	小松登志子	
16:00～16:30	講演 2「地中熱エネルギーの利用と展望」 NPO 法人地中熱利用促進協会 理事長	笹田政克	
16:30～17:00	講演 3「地中熱エネルギーとしての地下温暖化」 九州大学大学院 准教授	藤井 光	
17:00～17:45	総合討議		
17:45～17:50	閉会挨拶	岡山理科大学 教授 (進行役 有本弘孝)	北岡豪一

お申込み方法

E-mail にて、住所・氏名・団体名・役職名・Tel. をご記入のうえ、11 月 12 日(月) までに下記へお申し込みください。〒603-8047 京都市北区上賀茂本山 457 番地 4 総合地球環境学研究所 研究推進戦略センター

E-mail : swarming@chikyu.ac.jp

※電話や Fax.によるお申込みは受け付けておりません。

お問合せ先 総合地球環境学研究所 研究推進戦略センター TEL.075-707-2504

『都市域の地下温暖化と地中熱エネルギー』研究報告会

開催趣旨

住友財団 環境研究助成

「アジアの都市における地下温暖化に関する比較研究」共同研究グループ

研究代表者 谷口真人

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

総合地球環境学研究所 研究戦略推進センター 教授

都市域への人口集中に伴う様々な問題は、世界人口の半数以上がすでに都市に住む現在、大きな地球環境問題です。その問題の一つであるヒートアイランド現象は、地表面温度を上昇させ、熱が地表から地下に運ばれ蓄積されてゆくため、表層から深さ方向に地下温度を徐々に着実に上昇させています（図1参照）。すなわち、“地下の温暖化”が進行しています。

地下温度が上昇すると地層からの化学成分の溶出や汚染物質の離脱が促進され、土壌水や地下水の水質だけでなく地下の微生物活動にも影響が生じる可能性があります。これら地下温暖化に伴う地下環境への影響は、隠れた熱汚染問題であり、現在研究が進められています。

一方で、地下の温暖化は、再生可能エネルギー以上の地中熱が蓄積されているため、その蓄熱分を活用できるという利点もあります。

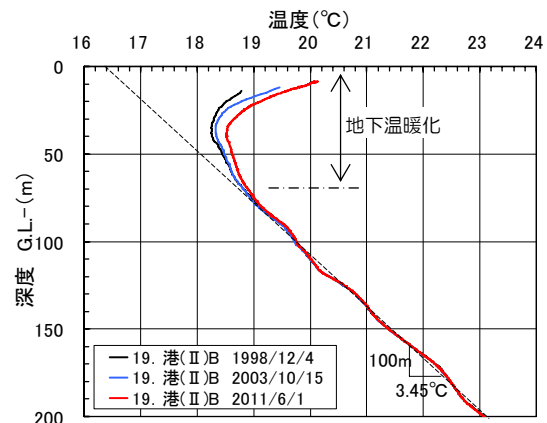


図1 大阪平野の地下温度プロファイル(実測値)の一例

この度の研究報告会は、都市域の地下温暖化についての D.P.S.I.R. すなわち、地下温暖化の要因 (Driving forces), 負荷 (Pressures), 状態 (States), 影響 (Impacts), 対策 (Responses) という観点に立ち、6名の研究者から研究成果を発表していただいた後、地下温暖化との賢明な付き合いかた・共存のありかたについての討論を行うものであります。

関係各位におかれましては、開催趣旨にご賛同を賜り、何卒ご支援、ご協力をいただきたくお願い申し上げます。

また、本研究は、公益財団法人住友財団の環境研究助成を受けたものであります。ここに関係者に厚く御礼申し上げます。